

日本食・食文化魅力発信プロジェクト

【302百万円】

対策のポイント

日本食・食文化の一層の理解深化と農林水産物・食品の輸出促進に向けて、国内外において日本食・食文化の魅力訴求活動等を実施します。

<背景／課題>

- ・平成32年のオリンピック・パラリンピックの東京開催や和食のユネスコ無形文化遺産登録が決まったこと等を受け、世界各国の日本に対する注目度は急速に高まりつつあります。
- ・また、農林水産物・食品の輸出促進については、「日本再興戦略」で平成32年に農林水産物・食品の輸出額を1兆円とする目標が掲げられ、今後、国別・品目別輸出戦略に基づいて、世界の料理界で日本食材の活用推進（Made FROM Japan）、日本の「食文化・食産業」の海外展開（Made BY Japan）、日本の農林水産物・食品の輸出（Made IN Japan）の取組を推進していくこととしています。
- ・こうした中で、国内外に日本食・食文化の魅力を広く発信することで一層の理解の深化を図るため、日本食・食文化の魅力訴求活動等に緊急に取り組みます。

政策目標

農林水産物・食品の輸出額を拡大

（4,497億円（平成24年）→1兆円（平成32年））

<主な内容>

1. 日本食・食文化に係る戦略的情報発信の検討

世界各国からの注目度が高まる当面の最大イベント“オリンピック・パラリンピック東京大会”に向け、日本食・食文化に係る戦略的情報発信の方向性を定めます。

2. 日本食・食文化ポータルサイトの開設

国内外の消費者や食関係者等が日本食・食文化の情報に常時どこからでもアクセスできる、各国言語に対応したポータルサイトを開設します。

3. 国内向け魅力訴求活動

日本人の日本食・食文化に対する理解向上を図るとともに訪日外国人客への魅力訴求にも資するよう、消費者や食関係者等を対象としたセミナー・シンポジウムの開催等による情報発信を行います。

4. 海外向け魅力訴求活動等

海外における日本の高品質な農林水産物・食品の魅力訴求や海外市場開拓のため、メディアを活用した情報発信、海外外食事業者等を招聘した産地勉強会、外交機会等を活用した官民合同協議会の開催・調査等を行います。

（委託費
委託先：民間団体等）

お問い合わせ先：

1～4の内容 食料産業局食品小売サービス課外食産業室（03-6744-0481）
4のうち官民合同協議会に係るもの 国際部国際協力課（03-3502-8058）